

お寺大会 エントリーシート

出品者名
大塚@川崎市
作品タイトル
無帰還アンププロジェクト基板使用 BJT ヘッドホンアンプ
作品介绍（回路図や構成図、コスト、出品者本人のコメント・所感など）
<p>○基板上の変更点</p> <ul style="list-style-type: none">・ゲインが約 10 倍になるように負荷抵抗や初段ソース抵抗を変更・出力段はサンケンの A1859/C4883 を使用しエミッタ抵抗は 4.7 オームとした・増幅段電源は安定化回路をバイパスして非安定のまま動作 <p>○その他制作上の要点・使用部品</p> <ul style="list-style-type: none">・電源は左右共通で、電源トランスは以下のものを各 1 個使用。 出力段 ±12VDC (東栄 0-9-18V 2A) 増幅部 ±24VDC (東栄 18-0-18V 0.2A)・整流は aitando の電源モジュール基板を、出力・増幅の各段で 1 枚ずつ使用。・出力段平滑コンデンサーは、±合計で 60,000 μF・増幅段平滑コンデンサーは、±合計で 40,000 μF・各基板は 12mmMDF 板にジュラコンスペーサーを介し木ネジで固定。 <p>○感想</p> <p>電源は左右共通ながら平滑コンデンサーを合計 100,000 μF と十分投入したため、非安定でもまったくハムノイズは出ない。</p> <p>各基板の実装は最近の私のスタンダードとなった MDF 板を介した木ネジ固定法とした。この方法の利点は①ネジ頭が外側に露出しない。②基板やトランスなどの固定が容易。③各モジュールのアイソレートを取りやすい。④レイアウト変更が容易。などがあげられる。</p> <p>音質については、電源が過剰なぐらい強力なせいか余裕を感じる音質で、特に低音に力強さがある。無帰還らしくボーカルが際立ち、エコー感・ハーモニクス感が表現できている。また、出力段が BJT のせいか、高音にも華がある明るい音質のアンプに仕上がったと思う。</p> <p>○謝辞</p> <p>今回も例によって、蝦名さんはじめ会員諸氏の多大なご協力、激励を頂きました。この場にてお礼申し上げます。</p>

この用紙は 2 枚記入し、1 枚は作品に添付、1 枚は事務局に提出してください。
この作品紹介を参考に大会レポートを作成します。